

緑の風 NEWS

JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2024年9月8日 No.25

自然災害に備えながら 地方ローカル線を守ろう！

近年、災害による鉄道の被災が急増しています。2年前の豪雨で被災したJR津軽線（蟹田～三厩）は沿線自治体と青森県、JRによる協議の結果、鉄道での復旧を断念する決断がなされました。その他、奥羽本線、五能線、陸羽東線、米坂線なども被災しましたが、復旧された線区もあれば、バス代行を実施していますが復旧の目処が立っていない線区もあります。



先月の台風で被災した山田線は全線で運転できない状況ですが、盛岡支社は山田線を2区間に分けて全線復旧させる見込みを発表しました。現在、山田線ではJR切符で並走する路線バスを利用できる実証実験が取り生まれ、さらには10月から約1ヶ月間、落葉等での空転による輸送障害を防止するための運休が計画され、路線バスの利用を促す案内がされています。

津軽線（蟹田～三厩間）は鉄道での復旧が断念されましたが、赤字の中、ローカル線等のあり方を議論する対象路線になっていることから、被災すると復旧されるのか注目が集まります。

地方ローカル線の問題は雇用に直結するほか、地域経済の衰退や反感を招きます。日頃から線路状態や沿線設備をこれまで以上に注視し、危険な箇所があれば事前に補修をして災害に備える構えが必要です。「赤字だからローカル線は廃線」という安易な考え方は認められません。通勤・通学・観光の足を守り、地域に貢献して親しまれる鉄道を残していきましょう！



日頃の安全点検を重要視していこう！